

第104回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現	金	当	座	預	金	受	取	手	形	売	掛	金
貸	付	金	未	収	入	当	座	借	越	未	払	金
支	払	手	形	買	掛	金	借	入	金	仮	払	金
仮	受	金	仕	入	売	上	貸	倒	引	当	金	
貸	倒	損	失	給	料	従	業	員	立	替	金	商
他	店	商	品	券	償	却	債	権	取	立	益	受
前	受	金										支
												払
												利
												息

1. 前期に貸倒れとして処理していた南場商店に対する売掛金 ¥ 400,000 のうち ¥ 100,000 を現金で回収した。
2. 藤田商店から商品 ¥ 500,000 を仕入れ、代金のうち ¥ 300,000 は藤田商店を名宛人とする約束手形を振り出し、残りは小切手を振り出して支払った。なお、当座預金の預金残高は ¥ 150,000 であったが、同商店は取引銀行と ¥ 2,000,000 を限度とする当座借越契約を結んでいる。
3. 商品 ¥ 100,000 を売り渡し、代金のうち ¥ 60,000 は当店発行の商品券で受け取り、残額は現金で受け取った。
4. 従業員に対する今月分の給料 ¥ 300,000 の支払いに際し、かねて従業員の生命保険料として立て替え払いしていた金額 ¥ 50,000 を差し引き、残額は現金で支払った。
5. 得意先宮内商店に対して期間3か月、利率年5%で貸し付けていた貸付金 ¥ 2,000,000 が本日満期のため利息とともに同店振出しの小切手で返済を受けた。